	初期研修医(ジュ	ニアレジデント)
1	診療科名	泌尿器科
2	診療科紹介	da Vinciを用いたロボット手術に力を入れており、前立腺全摘、腎部分切除、膀胱全摘などの症例をロボット手術で多く行っております。また、大学病院でありながら尿路性器悪性腫瘍のみならず前立腺肥大症や神経因性膀胱などに伴う排尿障害、男性不妊症、尿路性器感染症、尿路結石などの良性疾患も幅広く診療しています。当講座は2部門、3診療科(成人泌尿器、小児泌尿器、腎臓外科)から成り立っており、各分野で専門性の高い診療をしています。
3	臨床研修指導医	藤村哲也、安東聡、高岡栄一郎、杉原亨、保科勇斗、黒川真行
4	研修概要(特徴)	高齢化社会を迎え、悪性腫瘍をはじめ、排尿障害、尿路結石、女性泌尿器疾患など泌尿器科の臨床的需要は拡大傾向にあります。泌尿器科指導医の下、泌尿器科領域におけるプライマリケアを習得するとともに、医師として望ましい診療態度を習得します。診療チームの一員として、外来・病棟診療ならびに手術に参加し、疾患全般を経験し、泌尿器科特有の基本的検査・治療手技・診断知識を短期間で習得できるようなカリキュラムとなっています。また実際のロボット手術で使用しているda Vinciのシュミレーションを経験出来る事で、より泌尿器科の診療を身近に感じる事が出来ます。
5	研修内容(方略)	経験できる症例の平均的モデルを示します。 病棟では、指導医の下で入院患者を受け持ち(約15症例)、担当患者を診察し、診断・ 治療に関してアカデミックな観点から計画をたて実践します。手術には助手として参加 し、術前術後管理を習得します。また、早期の段階から指導医の下で小手術を執刀する機 会もあり、当科では実際に手を動かし、経験をして頂く事が一番の勉強になると考えてい ます。
6	到達目標	(1)一般目標(GIO) 泌尿器疾患の病態・診断・治療を理解し、泌尿器科の診断や手技を理解する。 1) 病歴聴取、全身診察、局所診察法(腎、前立腺、陰嚢内容)など泌尿器科的診察が出来る。 2) 指導医のもとで尿検査、超音波検査(腎、膀胱、前立腺)、放射線検査、膀胱鏡検査、下部尿路機能検査を実施またはオーダーし、評価できる。 3) 指導医のもとで導尿、尿道カテーテル留置、膀胱瘻造設、腎瘻造設や尿管ステント留置を行うことが出来る。 4) 術者あるいは助手として手術に参加するし、手術内容を理解できる。 (2) 個別目標(SBO) 1.診断・検査手技 前立腺直腸診。腎、膀胱、精巣、前立腺の超音波検査。膀胱尿道鏡検査 2.治療手技 導尿法。留置カテーテル交換 3.手術手技 切開・縫合。前立腺生検。尿管ステント挿入。経皮的腎瘻造設。経皮的膀胱瘻造設
7	週間スケジュール	
7 - 1	月曜日(午前)	
7 - 1	月曜日(午前)	病棟回診
7 - 2	月曜日(午後)	外来検査
7 - 3	火曜日(午前)	抄読会、病理カンファレンス、病棟回診、手術
7 - 4	火曜日(午後)	手術

7 - 5	水曜日(午前)	病棟回診
7-6	水曜日(午後)	外来検査
7-7	木曜日(午前)	病棟カンファレンス、教授回診、手術
7-8	木曜日(午後)	手術、医局会、外来カンファレンス
7-9	金曜日(午前)	病棟回診、手術
7-10	金曜日(午後)	手術
8	経験できる症例	尿路悪性腫瘍、尿路結石、尿路性器感染症、神経因性膀胱、腎後性腎不全、男性性機能障害、尿路性器奇形、腎外傷、尿道損傷、男性不妊症
9	指導医からのメッセージ	様々な出身大学の医局員が一丸となって臨床、研究、教育に取り組んでいます。一番の特徴は、若手の先生にもどんどんロボット手術を経験して頂くことで、手術技術の向上だけでなく疾患への理解を深めて貰っています。またメリハリを大事にし、work-life balanceにも気を配って業務に取り組んでいます。必ずや先生方のロールモデルとなる先輩医師が見つかるでしょう。私たちと共に研修をし、泌尿器科を盛り上げてくれる先生をお待ちしております!!